

## 平成22年度第2回小平市入札・契約制度検討会議（要旨）

とき：平成22年7月15日（木）午後3時から午後5時

ところ：健康福祉事務センター第3・4会議室

### 1 出席者

小平市入札・契約制度検討会議アドバイザー	3人
小平市入札・契約制度検討会議検討委員	13人
事務局（財務部契約管財課）	3人

### 2 議事内容

「小平市調達の基本指針（素案）たたき台」についての検討

### 3 議事要旨

- (1) 一般競争入札を拡大する場合は、適正な地域要件を設定し、また地域貢献活動や災害協定等を評価する総合評価方式の導入を行うこと。
- (2) 業務委託や公共工事を通じて、地域の活性化等の政策課題を実現していく手段としての入札制度の導入を行うこと。
- (3) 市が外部に示した調達指針に基づいた調達を行い、また市民からもチェックできる体制づくりの導入を行うこと。
- (4) 市内業者の育成は地域の活性化に不可欠であり、市内業者が競争に参加しやすい地域要件の整備を導入すること。
- (5) 一定規模以下の入札で基本的に競争が担保される場合、市内業者を優先的に指名する現在の方式の継続についての客観的要件を示すこと。
- (6) 地域発展に寄与する優良企業が、優先的に選定される仕組みを総合評価方式に導入すること。
- (7) 総合評価方式には自治体として推進する政策課題について、専門家の意見を聞きながら、具体的な評価項目の選定について示すこと。
- (8) 公共施設の整備、物品調達について、たとえば環境に配慮した材料の使用等について、設計や物品購入の見積書徴取の過程から取り組むことについて、全庁的に行うこと。
- (9) 指名競争入札の仕組みとして、公平性・透明性を高めるために、受注に意欲のある事業者が参加できる仕組みを導入すること。
- (10) 公共工事、業務委託の両方に総合評価方式を取り入れ、経済性だけでなく包括的、総合的な価値を生み出すことについての仕組みづくりを行うこと。